

令和7年度 農山漁村振興交付金(農泊推進型)
事業実施主体 評価一覧

1. 事業評価の実施

令和7年度に実施された「農山漁村振興交付金(地域資源活用価値創出対策)のうち地域資源活用価値創出推進事業(農泊推進型)及び地域資源活用価値創出整備事業(農泊推進型)」の事業について、「農山漁村振興交付金(地域資源活用価値創出対策)実施要領」(令和4年4月1日付け3農振第2921号農林水産省農村振興局長通知)別記4の第9の規定に基づき、評価を行ったので、その結果を公表する。

2. 事業評価結果の総括

令和7年度に交付金事業を実施した東北農政局管内の6地区(盛岡市グリーン・ツーリズム推進協議会ほか5地区)について、取組の実施状況、成果等を総合的に評価した。
その結果、優良と認められる地区が4地区、総合的に低調と認められる地区が2地区との評価結果となった。
総合的に低調と認められる地区に対しては、重点的な指導、助言等を行う。
また、今年度の評価対象ではないが昨年度に重点指導の対象となっていた1地区(作並温泉農泊協議会)について、評価資料が未提出であったため評価できなかった。
その結果、来年度も引き続き重点的な指導、助言等を行う地区は1地区であった。

3. 各地区の評価結果

7件(うち1地区は、今年度評価対象ではないが昨年度重点指導となっていた地区)

農政局等	都道府県	市 町 村	事 業 実 施 主 体 名	事業実施段階								評 価	評 価 コ メ ン ト
				R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9		
東 北	宮城県	仙台市	作並温泉農泊協議会			● ▼	● ■ ▲ ▼	▲ ▼	△ ▼	△		—	評価資料が未提出であったため評価できなかった。

農政局等	都道府県	市 町 村	事 業 実 施 主 体 名	事業実施段階								評 価	評 価 コ メ ン ト
				R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9		
東 北	岩手県	盛岡市	盛岡市グリーン・ツーリズム推進協議会					●	● ■	△		C	(評価コメント) 計画どおり取組が全て実施されたが、事業実績の売上高及び延べ宿泊者数の達成率が50%未満であるため総合評価はC評価とした。 事務局を中心に盛岡市南部地域で活動しているが、今後は盛岡市全体で推進するための連携強化を図り、実施体制の強化を行う必要がある。 目標の達成率が低調となった理由が、事業実施地域周辺において熊の出没が相次いだため、受入ができなかったことによるものであり、今後、屋内型・施設型体験メニューの充実を図ることで目標達成に向かうことを期待したい。 (指導・助言コメント) 熊出没の影響により目標達成に至らなかったことは不可抗力であるが、安全に配慮した屋外型・施設型の体験プログラムを拡充し、目標達成に向けて取組を進められるよう十分に検討されたい。
東 北	岩手県	奥州市	ころもがわ農泊地域協議会					●	● ■			A	(評価コメント) 事業実績の売上目標、料金単価、体験プログラム数が90%を越えているため総合評価をAとした。 ただし、事業継続に重要である情報発信の人材確保が募集をしても見つからないことで業務に支障をきたしていることも事実であり、急ぎ解決すべき事項と考える。 雨でも体験プログラムを実施する体制づくり、OTAの積極的な活用、タイの旅行会社に積極的に営業をかける等、前向きな活動は評価できるため、是非、地域活性のため、事業継続のためにも人材確保に注力していただきたい。
東 北	宮城県	登米市	食農体験ネットワーク登米協議会					●	● ■			A	(評価コメント) 取組状況、事業実績の目標数のうち、宿泊者数以外は達成していることから総合評価をAとした。 特に、インバウンドの受入れ人数が目標数字より大きく達成しており、高く評価できる。 しかし、未達成であった「延べ人数」は売上に関わる部分であるため、注力すべき項目である。宿泊施設のPRが計画どおりに進まなかったことが要因とのことなので、今後はスケジュール管理を怠らずに実施していただきたい。

農政局等	都道府県	市町村	事業実施主体名	事業実施段階								評価	評価コメント
				R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9		
東北	秋田県	仙北市	一般社団法人仙北市農山村体験推進協議会					●	● ■			A	(評価コメント) 事業実績の延べ宿泊者数は目標に届かなかったところであるが、売上高及び料金単価の達成率は目標を上回っており、概ね計画どおりに取組が実施されたことから総合評価をAとした。 各種研修・講習会では受入体制の強化と事業者等のモチベーションの向上が図られ、台湾現地での誘致セミナーでは、商品造成や団体予約といった成果をあげている。 今後も、事務局を中心に各施設や事業者等との連携を密にしていこうと、更なる取組の発展、地域全体の収益向上につながることを期待したい。
東北	青森県	南部町	特定非営利活動法人青森なんぶの達者村						●	○ □		C	(評価コメント) 事業実績の売上高、延べ宿泊者数、料金単価の達成率は概ね目標を達成しているが、取組状況の主要な取組「農泊インターンシップの受け入れ」が募集定員を満たせず低調となったことから総合評価をCとした。 教育旅行やインバウンド受入に向けた広域連携の基盤が整備されつつあり、実施体制の強化が図られていることは評価できる。 今後、ホームページの構築による情報発信や問い合わせ機能の強化、動画を活用したプロモーションによる営業活動の効率化、受入マニュアルや研修内容の共有を図りながら地域の魅力向上につながることを期待したい。 (指導・助言コメント) 令和7年度は概ね目標を達成しており、広域連携の基盤づくりが進捗し、受入拡大に向けた体制整備が図られていることから、目標達成に向かっていくことは見受けられる。 令和8年度についても引き続き、受入体制の強化に向け、広域連携や情報発信を推進するとともに、農泊インターンシップ受入の周知時期・周知方法を十分に検討されたい。
東北	岩手県	遠野市	遠野ふるさと体験協議会						●	○ □		A	(評価コメント) 計画どおり取組が実施され、概ね目標を上回る実績となっており総合評価をAとした。 農泊の取組の質の向上や人材の育成、適正価格の見直し、高付加価値化を図りながら新規農泊施設を2軒開業させたことは大いに評価できる。 今後、更なる集客のため、遠野市公式Webサイト・SNSへの掲載強化、外部事業者との連携によるOTAサイト掲載等を進めながら地域の魅力向上と販路拡大に取り組むこととしており実績につながることを期待したい。

(注1) 「事業実施段階」の凡例: ソフト対策 ○・・交付対象年度(計画) ●・・交付対象年度(実施済) □・・目標年度(計画) ■・・目標年度(実施済)
ハード対策 ☆・・交付対象年度(計画) ★・・交付対象年度(実施済) ◇・・目標年度(計画) ◆・・目標年度(実施済)
重点指導 ▼・・重点指導(通知) △・・重点指導(結果報告予定) ▲・・重点指導(結果報告)

(注2) 「評価」の区分: A・・優良 B・・良好 C・・低調 評価対象外・・評価対象外

4. 第三者機関の意見聴取

農山漁村振興交付金(地域資源活用価値創出対策)実施要領(令和4年4月1日付け3農振第2921号農林水産省農村振興局長通知)別記1の第4の2の規定に基づき、第三者機関である「東北農政局農山漁村振興交付金評価委員会」を組織し、評価に当たり意見の聴取を行った。評価委員会の委員及び開催概要は以下のとおり。

【評価委員会 委員】

委員長:角田 毅(東北大学大学院教授)
委員:横田 純子(特定非営利活動法人 素材広場 理事長)、渡辺 理絵(山形大学農学部教授)

【令和8年度評価委員会の開催概要】

評価委員会	
1 日 時	:令和8年8月5日(水) 13:26~15:30
2 場 所	:仙台合同庁舎A棟6階第1会議室
3 概 要	令和7年度に事業を実施した6地区の評価に関して、了承を得た。 また、今年度の評価対象外ではあるが、昨年度に重点指導対象となっていた1地区について、評価資料が未提出であったため評価ができなかった。
4 主な意見	作並温泉農泊協議会については、引き続き指導を継続することとの意見があった。